

時代に乗り、走り続ける
老舗企業の挑戦

1881年(明治14年)、塩田陸運社として創業し、1951年(昭和26年)に横手運送株式会社として設立。

2012年(平成24年)にヨコウン株式会社へと社名を変更した。

物流を軸として、輸配送事業、通関業、流通加工業、倉庫業、リサイクル物流事業、ソーラー事業と多岐にわたる事業を展開している。

老舗でありながら右肩上がりの成長志向

南北に縦断する雄物川や羽州街道を核とし、古くから人や物の交流が盛んであった横手市。この地を拠点に、“物流”を軸に成長を遂げてきたのが、総合物流企業として秋田県内最大手であるヨコウン株式会社だ。創業は1881年。鉄道がまだ発展していない時代から、米や塩、木材などの第一次産業品の輸送を始め、時代の変遷に合わせて、自動車部品に代表される第二次産業を主体とした輸送、さらには食品を中心とした温度管理を必要とする輸送など、あらゆるモノを運ぶことで地域の暮らしをつないできた。

現在、ヨコウン株式会社としては354名、グループ会社を含めると400名を超える従業員を率いるのが、八代目となる(同族では六代目)の塩田充弘代表取締役社長だ。



“届ける、その過程に付加価値をつける”

「この業界はサービス業のため、個々の“技術力”の高さを売りにはできません。当社では、単純にモノを運ぶだけでなく『輸送付帯業務』、いわゆる輸送以外の業務についてもお客様から相談があれば、常にチャレンジしてきました。必要とされていることに挑戦し、改善を繰り返す。重ねてきた結果が当社ならではの付加価値を生み出したのだと思います」。

老舗でありながら型にとられない柔軟な発想と進取な気風。物流という言葉がまだ一般的ではなかった30年前からすでに同社ならではのワンストップサービスを実現させてきた。時代の機微をいち早く読み解く手腕は、創業当時から右肩上がりの売上高に如実に表れている。

次世代を見据えるYOKOUNマインド

輸送や運送、配送といった言葉たちは時代とともに「物流」という単語に集約され、同社もまた、「横手運送株式会社」のままでは、多岐にわたる業務内容を表現できなくなっていた。

「地元の子供たちが職場見学会で当社を訪れたとき、『倉庫がある!』と驚いていたんです。運送会社だから、トラックで配達することは想像できても、倉庫の保管業務までは想像できなかったようで、社名でイメージが限定されてしまうのだということを知りました」。

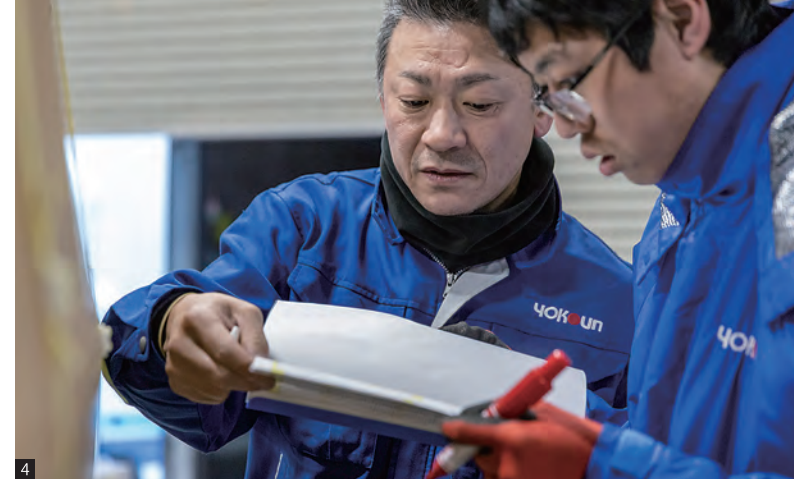
2012年、自身の代表取締役社長就任が一つの転機となり、「横手運送」から愛称として親しまれていた「ヨコウン」へと社名を変更した。さらに、塩田代表は、経験者優遇の中途採用がほとんどだった採用枠に、大学生新卒枠を設置したほか、新入社員向けの基礎的な研修である「YOKOUNスクール」や幹部社員と次世代リーダーを対象とした「YOKOUNアカデミー」を新設するなど、多様化する時代のニーズに応えるための人材確保・



育成にも力を注いでいる。同社の目指す人材は“物流コンシェルジュ”。お客様のあらゆる要望に対し、豊富な知識で提案(マッチング)ができる人材だ。

「組織は小さなピラミッドの集合体。社長は役員を、役員は部次長を、部次長は所長・課長を、所長・課長は部下をマネジメントしていくことで、ゆるぎない基盤ができる。自分の仕事だけでなく、“会社全体にとって最適な仕事とは何か”を考え、行動できる人材を育成することが重要です」。

輸配送事業や通関業、流通加工業など多様な業務に加え、県内外の拠点で多くの従業員を抱えるからこそ、情報の発信と共有にも力を入れる。“私は編集長です”と笑う塩田代表を中心に、会社の基本的な情報から売上の推移、日々行われている行事、営業所ごとの活動内容といったあらゆる情報を社内報や自社のHP、SNSを活用し、発信している。また、営業目標達成のためのPDCAサイクルを1カ月単位で実施し、売上や行動目標を確認するための営業所単位の朝礼には塩田代表自らが定期的に参加するなど、自身のものさしで現場の状況を把握することを忘れない。



東北オンリーワンの総合物流サービス企業へ

「今後ますます、IT技術によるオートメーション化や独自のサービスによる競争が激化するでしょう。『物流』と周辺事業をより融合させていくことで、当社だけの物流設計の仕組みをつくり、ビジネスモデルとして定着させていきたいと思っています」。

現在の状況を高進ステージと位置付ける塩田代表は、他業種でも良いと思った事例は柔軟に取り入れ、自社の進化を後押しする。自社の進化は、そのまま地域の雇用や経済を支える一助となり、経営理念の「総合物流サービスを通じて地域社会に貢献する」ことに直結するからだ。2021年で創業140年を迎える老舗企業だからこそ、塩田代表は常に地域と共に歩む未来を見据えている。カーボン・オフセットやフードリサイクル、道路の清掃活動といった環境活動から、ブラウブリッツ秋田、秋田ノーザンハピネッツといった地元スポーツチームのオフィシャルスポンサーまで、同社が行う地域社会への貢献活動は幅広い。

「世の中は繋がりでできているんです」と塩田代表は微笑む。地域を愛し、地域に愛された老舗企業は、これからも東北オンリーワンの総合物流サービス企業を目指し、時代に乗り、走り続ける。

- 1 経験豊富な通関士6名が在籍し、輸出入業務なども力を入れている。
- 2 YOKOUNアカデミーやYOKOUN塾の他にも、様々な講習会・研修会が開催される。
- 3 近隣道路の清掃活動。2010年から延べ100人以上の社員が参加。
- 4 新入社員はベテランの指導の下、着実にスキルアップを重ねる。



ヨコウン株式会社

〒013-0072
秋田県横手市卸町8-14
TEL.0182-32-3667
FAX.0182-32-5672
<http://www.yokoun.co.jp/>

設立 / 1951年(創業1881年)
●資本金 / 20,000千円
●従業員数 / 354名
●営業品目 / 利用運送業(通運)、
一般貨物自動車運送事業、倉庫業(一般・低温)
通関業、製造業、
産業廃棄物収集運搬業

代表取締役社長
塩田 充弘
しおな みつひろ